

## 公民科（公共）学習指導案

## 1 単元名 社会の基本原則と憲法の考え方

この単元は、「2 内容」の「A 公共の扉」の「(3)公共的な空間における基本原則」に該当する。

## 2 単元目標

- (1) 公共的な空間における基本原則としての日本国憲法の考え方を理解する。
- (2) 日本国憲法の考え方に基づき、個人と社会の関係等について自分の意見を表現する。
- (3) 日本国憲法の考え方に基づき、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定等の大切さ、公共的な空間に生じる課題を追究する。

## 3 単元の指導計画（全体 11 時間）

## (1) 指導計画

- ・近代立憲主義の原理、広がり 2 時間
- ・日本国憲法 1 時間
- ・平等に生きる権利 1 時間
- ・自由に生きる権利 2 時間
- ・人間らしく生きる権利 1 時間
- ・広がる人権の考え方 1 時間
- ・人権保障の国際的な広がり 1 時間
- ・単元のまとめと探究 2 時間（本時 10/11、11/11）

## (2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・公共的な空間における基本原則としての日本国憲法の考え方を理解している。	・日本国憲法の考え方に基づき、個人と社会の関係等について自分の意見を表現している。	・日本国憲法の考え方に基づき、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定等の大切さ、公共的な空間に生じる課題を追究している。

## (3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B)具体的な評価規準 (C)具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1次 (2)	【学習課題】<単元を貫く問い> 「近代立憲主義や日本国憲法の考え方が自身の生活する社会にどのように関わっているか」 【学習課題】「近代立憲主義とは何か」 ・近代立憲主義	【ねらい】近代立憲主義についての基本的事項を理解する。	●			【知】 (B)近代立憲主義の考え方や広がりについて理解できる。	・ロイロノートの記述を基に評価する。
第2次 (1)	【学習課題】「日本国憲法の特徴は何か」 ・日本国憲法	【ねらい】日本国憲法の基本的原則をその成立の経緯を踏まえ理解する。	●			【知】 (B)近代立憲主義の考え方や広がりについて理解できる。	・ロイロノートの記述を基に評価する。
第3次 (1)	【学習課題】「平等権の保障は何をもたらすか」 ・平等に生きる権利	【ねらい】平等権に関する基本的な考え方に基づき、現実社会の事例について自らの意見や主張を表現する。		●		【思】 (B)現実社会の差別事例と差別解消の重要性などについて判断できる。	・ロイロノートの記述を基に評価する。
第5次 (2)	【学習課題】自由権の保障は何をもたらすか ・精神的自由 ・身体的自由 ・経済的自由	【ねらい】自由権の重要性に関する基本的な理解を踏まえ、現実社会の事例について自らの意見や主張を表現する。		●		【思】 (B)自由権に関する主な訴訟や判例の妥当性について判断できる。	・ロイロノートの記述を基に評価する。

第6次 (1)	【学習課題】「公平な社会の実現のために必要なのは何か」 ・人間らしく生きる権利	【ねらい】社会権、国務請求権、参政権、国民の義務などに関する基本的な考え方を理解する。	●		【知】 (B) 人間らしく生きる権利についての基本的な事項を理解できる。	・ロイロノートの記述を基に評価する。
第7次 (1)	【学習課題】「新しい人権の保障がなぜ必要なのだろうか」 ・広がる人権の考え方	【ねらい】新しい人権に関する基本的な考え方をを用いて、自らの意見や主張を分かりやすく表現する。		●	【思】 (B) 新しい人権の保障の必要性について考察できる。	・ロイロノートの記述を基に評価する。
第8次 (1)	【学習課題】 「国際的な人権保障はどのように広がっているのだろうか」 ・人権保障の国際的な広がり	【ねらい】世界の人権問題に関して理解する。	●		【知】 (B) 人権保障の国際的な広がりについて理解できる。	・ロイロノートの記述を基に評価する。
第9次 (2)	・単元のまとめと探究	【ねらい】近代立憲主義や日本国憲法の考え方が自身の生活する社会にどのように関わっているか考察する。また、今後学習へ見通しをもつ。		○ ○	【思】 (4)ア参照 【主】 (4)イ参照	・ロイロノートの記述を基に評価する。

## (4) 評価規準

## ア ロイロノート1の評価規準【思考・判断・表現】

自らが生活する社会に近代立憲主義や日本国憲法の考え方がどのように関わっているかを考察することができる。

## 判断基準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・自らが生活する社会に近代立憲主義や日本国憲法の考え方がどのように関わっているか、事例を挙げて説明している。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・自らが生活する社会に近代立憲主義や日本国憲法の考え方がどのように関わっているか、事例を挙げて多角的に説明している。
「努力を要する」状況（C）と判断される例とその生徒への支援
・自らが生活との関わりを説明できていない。→ロイロノートの記述を確認し、支援する。

## イ ロイロノート2の評価規準【主体的に学習に取り組む態度】

社会問題に対して自らの考えを表現することができる。

## 判断基準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・本時の学習について、社会問題に対して自らの考えを表現している。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・本時の学習について、社会問題に対して、自らとは異なる意見にも配慮しながら自らの考えを表現している。
「努力を要する」状況（C）と判断される例とその生徒への支援
・自らの考えを表現できていない。→ロイロノートの記述を確認し、支援する。

## 4 本時の指導と評価の計画

## (1) 本時の目標

- ア 近代立憲主義や日本国憲法の考え方について、これまでの学習を振り返り、その特徴や自らが生活する社会にどのように関わるのかを考察する。
- イ 近代立憲主義や日本国憲法について考える活動に主体的に取り組み、これまでの学習と結び付け、今後の学習の見通しをもつ。

## (2) 1 時間目の展開 (○…「評価に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	・単元の振り返り	・平等権、自由権、公共の福祉など単元で学んだことを振り返る。	
展開1	・学習課題	・自らが生活する社会に近代立憲主義や日本国憲法の考え方がどのように関わっているかをまとめ、ロイロノートで提出する。	・まとめが進んでいない生徒に対して、一緒に授業の内容を振り返り、学習を支援する。 ○ロイロノート2(2) 【思考・判断・表現】
展開2	・共有	・ロイロノートの回答共有機能を用いて、自身以外のまとめを見る。	
まとめ	・本時の振り返りと今後の見通し	・本単元で学んだことを整理し、今後の学習に対する見通しをもつ。	

## (3) 2 時間目の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	・前時の振り返り	・前時のまとめの中にある「安楽死」について確認する。	
展開1	・ブラックジャック「ふたりの黒い医者」	・ブラックジャック「ふたりの黒い医者」を読み、ブラックジャック、ドクターキリコ、話の中に登場する親子の考え方を理解する。	
展開2	・自らの考え	・ブラックジャック、ドクターキリコ、親子、どの考え方に賛同するかを理由とともに考える。	
まとめ	・振り返り	・ロイロノートで考えを共有し、自らの考えを深め、安楽死について再考する。	○ロイロノート2(3) 【主体的に学習に取り組む態度】

## (4) 本時の評価規準

## 3 (4) 参照

## 5 成果と課題

## (1) 成果

## ア 1 時間目

評価結果は右のとおりであった。自らの意見を出すことができなかった生徒をC評価としたが、後日、C評価の生徒に対して、立憲主義や憲法の考え方を復習する機会を設け、学習を支援した。

思考・判断・表現		
A評価	B評価	C評価
13%	70%	17%

次にA評価とした解答例を示す。

「子どもの心身の健康を守る」と提起されているが実際SNSはトラブルなどが起こりやすいことは理解できるが、使えるものを制限したり、注意喚起をしたりするなど禁止にはしなくてもいい方法があると思った。

この生徒は、オーストラリアでの16歳未満のSNS利用禁止を例に挙げて考察しており、実生活に根差した例をあげるだけでなく、異なる立場の考えに対して配慮して多面的に説明していることからA評価にした。

## イ 2時間目

1時間目の授業で、生徒から自由権と安楽死について結び付けて自身の意見を述べている生徒がいたので、2時間目はこれを題材として取り上げ、生徒の課題意識や学びを授業に生かしながら単元の指導を進める方法をとった。

例えば、ある生徒が本時の感想として「私とは異なる考えを知ることができてよかった。いろいろな考えがあるから、みんなの意見を聞くことは改めて大事だなと思いました。」と記述して

主体的に学習に取り組む態度		
A評価	B評価	C評価
6%	76%	18%

いる。安楽死について自らの考えを示しながら、本時の授業を他人事とするのではなく、「みんなの意見を聞くことは改めて大事だなと思いました」と本時の内容を自分事としてこれからの生活や学習に生かそうとしていることが見取れた。

## (2) 課題

今回、ロイロノート上での提出物を成果物として、思考・表現・判断及び主体的に学習に取り組む態度の評価を行ったが、どうしても提出できない生徒がおり、上述のとおり個別に学習を支援した。授業における学びだけで考えを深められなかったり、考えるがうまく言葉で表現することができなかつたりする生徒がいるため、いわゆる個別最適な学びに近づくように指導の個別化を充実していきたい。

また、公民の授業で扱う内容は、正解、不正解を明らかにできるものばかりではないので、教科書の記述などに縛られず、生徒が自ら探究して課題を解決するような授業へと転換していきたい。